

リアブレーキホースキット（ノーマルキャリパー用）取扱説明書

製品番号 06-08-0228

適応車種	モンキー 125	(JB02-1000001 ~)
		(JB03-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル	(MLHJB02) (MLHJB03)
	ダックス 125	(JB04-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お欠きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品で使用されているバンジョーボルトのネジピッチは10x1.25です。純正マスターシリンダー、キャリパー専用です。
- ◎この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご相談される事をお勧め致します。

～特徴～

- 低膨張率のテフロンチューブをステンレスブレードで覆ったホースを使用する事でダイレクトなブレーキタッチで確実な制動力が得られます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ブレーキホースに使用するシーリングワッシャは、着脱ごとに必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

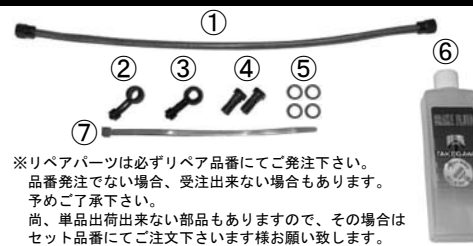
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。万一、付着した場合、パッドは交換し、ディスクローターは脱脂を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

製品内容

番号	部品名	個数	リベア品番
1	ブレーキホース 600mm (ゴールドアルマイト)	1	00-06-0193
2	バンジョー (25°)	1	00-07-0037
3	バンジョー (ストレート)	1	00-07-0006
4	バンジョーボルト M10x1.25 (ゴールドアルマイト)	2	00-07-0131 (シーリングワッシャ付)
5	シーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0106 (10ヶ入り)
6	ブレーキフルード (BF-4)	1	06-08-0019
7	結束バンド 200m	1	00-00-0269 (10ヶ入り)



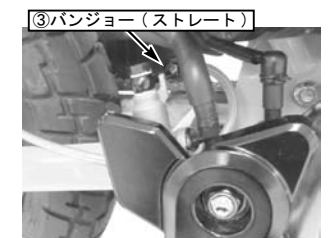
※リベアパーツは必ずリベア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

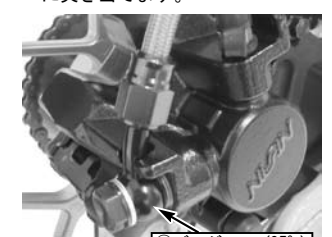
○ブレーキフルードを抜き取り、クランプを外して、純正のブレーキホースを取り外します。
※ブレーキホースのクランプは再使用します。

【モンキー 125 の場合】
○マスターシリンダー側は
④バンジョーボルト M10x1.25 に
⑤シーリングワッシャ、
③バンジョー (ストレート)、
⑤シーリングワッシャの順で通し、仮締めします。
キャリパー側は②バンジョー (25°) を同様に取り付けます。

【ダックス 125 の場合】
○マスターシリンダー側は②バンジョー (25°)、キャリパー側は③バンジョー (ストレート) をご使用下さい。



○マスターシリンダー側は
③バンジョー (ストレート) を写真の様に時計回りに取り回し、マスターシリンダーのストッパに突き当てます。



○①ブレーキホース 600mm はタイヤに干渉しないよう、⑦結束バンド 200mm でスイングアームに固定し、ホースの動きを規制します。

○①ブレーキホース 600mm をガイドに通して各バンジョーに取り付けます。リアフォークがスイングしてもホースに無理な力が掛らず干渉の無い様、取り回しの位置を調整し、④バンジョーボルト M10x1.25、①ブレーキホース 600mm のフィッティングを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク：13 ~ 15N・m (1.3 ~ 1.5kgf・m)
フィッティング
トルク：5 ~ 6N・m (0.5 ~ 0.6kgf・m)

○純正ブレーキホースクランプ部のグロメットにカッター等で割を入れ、接着剤を剥がして取り外し、弊社製①ブレーキホース 600mm に取り付け、外れないようビニールテープを巻き純正同様にホースをクランプします。

▲注意：グロメットを取り外す際は、純正ブレーキホースを損傷しないように注意して下さい。損傷した場合はそのブレーキホースの使用はお止め下さい。



▲警告：ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一付着した場合は、ブレーキパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。
▲注意：走行前に必ずブレーキが正常に作動するか確認する事。

マスターシリンダー、キャリパーのエア抜き作業

1. ブリーダバルブを締め付け、リザーバタンクにブレーキフルードを注入し、ダイヤフラム、セットプレートを取り付けます。

▲注意：ゴミや水を混入させない事。銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。DOT4 (BF-4)

2. ブレーキペダルの操作を繰り返し、ブレーキフルードレベルに注意しながらキャリパー、ブレーキホース、マスターシリンダー内にブレーキフルードを満たします。この操作をリザーバタンク内の穴から気泡が出なくなるまで（ブレーキペダルの操作に重みを感じるまで）行います。
3. ブレーキペダルを数回操作し、作動させた状態でブリーダバルブを1/2回転緩め、再度締め付けます。※ブリーダバルブを締め付けるまで、ペダルを放さないで下さい。
4. ブレーキペダルをゆっくり放し、完全に戻ったら数秒間放置します。
5. 3、4の作業をブリーダバルブ、リザーバタンクから気泡が出なくなるまで繰り返します。
6. ブリーダバルブを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーダバルブ
トルク：5.4N・m (0.6kgf・m)

7. エア抜き後、ブレーキフルードレベルを点検し、必要があれば補充します。

▲警告：ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一付着した場合は、ブレーキパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。
▲注意：走行前に必ずブレーキが正常に作動するか確認する事。